

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	2022年7月4日(月)
タイトル	田んぼの学校～狩込みどじょっこ会によるさつま苗植え・草取り～
水土里レポーター名	水土里ネット那須野ヶ原 星野 恵美子

令和4年6月12日(日)、狩込みどじょっこ会による『田んぼの学校』活動がありました。当日は梅雨の晴れ間に恵まれ、さつま芋の植え付けと田んぼの草取り作業が約70名の参加者で行われました。

さつま芋の苗の植え付けは、毎年参加する手慣れた子供たちや農家の方たちの指導の甲斐あって瞬く間に終わってしまいました。秋の収穫が楽しみです。続いて田んぼの草取り作業です。草取り機というものをご存じでしょうか？現代における水田の除草は専ら除草剤の使用が主流となり、見かける機会もなくなりましたが、これはかつて明治の頃に作られた“中耕除草機”と呼ばれるもので、柄の先に鉄でできた歯がついている手押し草取り用具です。稲と稲の間を、草取り機で押しは引いてを繰り返しながら雑草を根ごと浮かせて除草します。また、田んぼの土に空気を混ぜ成長の手助けをする役割もあります。



ぬかるんだ田んぼの中で泥まみれになりながら、子供たち自身の身長と同じかそれ以上の大きさがある草取り機を一生懸命に動かし、次々と田んぼの雑草が抜き取られていきました。

作業の後は、地元の方の手作りのおにぎりとお惣菜を頂きました。みんなで育てているお米も、秋の収穫期を迎え、美味しく食べられる日が楽しみです。

作業終了後、恒例の「こじ飯」はコロナ禍のため、みんなが一堂に会して楽しむことは叶いませんでした。配布されたおにぎりは各自持ち帰りです。



泥塗れでもへっちゃら！



お疲れさまでした。